

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 健康長寿課
 担当名: 母子保健担当
 内線: 3561

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B33	ウェルカムベビープロジェクト(普及啓発)		一般会計	衛生費	公衆衛生費	母子衛生費	不妊治療助成費	
事業期間	平成29年度～	根拠法令	少子化対策基本法13条			宣言項目	01	結婚・出産・子育ての希望実現
					分野施策	010101	きめ細かな少子化対策の推進	
1 事業概要			5 事業説明					
<p>晩婚化が進展する中、年齢を重ねるほど妊娠率は下がり、妊娠・出産に係るリスクが高まる。少子化対策の一環として、若い世代に対し妊娠・不妊に係る正しい知識の普及啓発を行うことにより、子どもを望む夫婦に対し早期受診の意識の向上を図る。</p> <p>(1) 冊子作成 △616千円 契約差金等に伴う減 (2) 普及啓発 △606千円 会場使用料の削減等に伴う減 (3) 気運の醸成 △2,005千円 執行額の削減に伴う減 (4) 妊活推進</p>			<p>(1) 事業内容 少子化対策の一環として、若い世代に対し妊娠・不妊に係る正しい知識の普及啓発を行うことにより、子どもを望む夫婦に対し早期受診の意識の向上を図る。 ア 冊子作成 3,332千円 イ 普及啓発 2,472千円 ウ 気運の醸成 4,607千円 エ 妊活推進 5,010千円</p> <p>(2) 事業計画 ア 冊子作成 125,000部 イ 普及啓発 出前講座開催 30回 等 ウ 気運の醸成 埼玉県このとり大使メッセージカード配布 等 エ 妊活推進 不妊に悩む夫婦を対象とした医師・助産師による相談</p> <p>(3) 事業効果 正しい知識の普及啓発を行うことにより、若い世代が結婚、子育てを含めたライフプラン形成の意識向上を図る。</p> <p>(4) 補正予算の概要 ア 入札差金等に伴う減 イ 会場使用料の削減等に伴う減 ウ 留保額等に伴う減</p>					
2 事業主体及び負担区分								
県10/10 (4) うち県相談事業 県1/2 国庫1/2								
3 地方財政措置の状況								
なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×0.8=7,600千円								
			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
予算額		国庫支出金						
決定額	△3,227	△308					△2,919	11,544
現計額	14,771	2,859					11,912	